

平成 24 年度日本医学図書館協会近畿地区会/
日本薬学図書館協議会 近畿・中国・四国・九州地区
協議会/近畿病院図書室協議会 共催実務者研修会

研修部

日 時：2012 年 10 月 30 日(火)13:00~16:30
場 所：京都大学楽友会館 2 階 会議・講演室
プログラム：
開会あいさつ

奈良県立医科大学附属図書館
鈴木 孝明 氏

1. 基調講演

相互貸借—私の悩み、私の工夫

大阪大学附属図書館生命科学図書館
諏訪 敏幸 氏

2. 事例発表

関リポジトリ (IR) との関連

奈良県立医科大学附属図書館
和田 崇 氏

3. 事例発表

京都府立医科大学附属図書館の ILL 業務について

京都府立医科大学附属図書館
山下 ユミ 氏

参加者数：10 名（当協議会会員のみ）

1. 相互貸借—私の悩み、私の工夫

大阪大学附属図書館生命科学図書館で、長年レファレンスと ILL 業務に携わっておられた中での豊富な事例を通して、利用者とのかかわりから「文献の専門家としての図書館員」としてのありかたを述べられた。利用者への道しるべになるような教育についての説明と、より進んだサービスへの取り組みについて示唆いただいた。

2. 関リポジトリ (IR) との関連

奈良県立医科大学附属図書館の ILL の実際を通じて依頼件数の 2 割が病院誌、看護研究誌であり他学のリポジトリなどで入手できたことを提示された。病院図書館などによる関リポジトリへの移行や参入の期待について話されたが、個々の機関の状況があり困難なことも示された。

3. 京都府立医科大学附属図書館の ILL 業務について

ILL の手順を時系列にそって話された。日によって担当が変更することや、一週間の中で依頼が重複しない工夫、学内の依頼者の料金徴収や到着文献の管理・受け渡し方法について述べられた。また近年は E-Journal 文献のリクエストも多く、受付可能館を調べるのに難渋していることも話された。

今回会場は京都大学の保有する建物で、以前は結婚式も行われていたということを伺い、なるほどクラシックな雰囲気のある施設であった。お話しいただいた内容はどれも NACSIS に加入していない施設の多い病院図書館 ILL 担当者にとって垂涎^{すいぜん}の示唆あふれる内容であり、質疑・応答についても活発に行われた。著作権も依頼する側が調査すべきケースがあることも教えていただき、マナーを守っての依頼について大いに考えるところがあった。

(文責：畑 美之/大阪警察病院)